



せとうちみなとマルシェ特集



SETOUCHI MINATO  
Marché  
せとうちみなとマルシェ

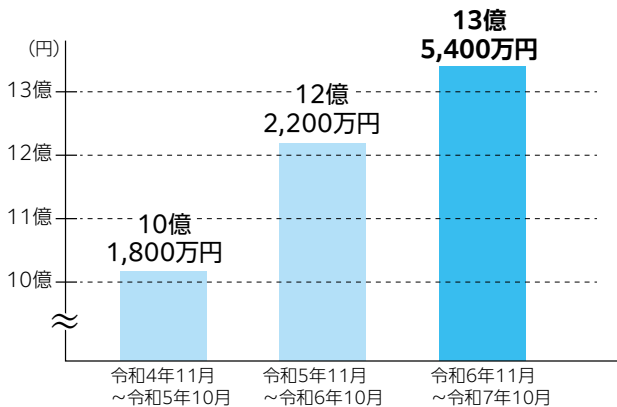
港に多くの人が集まる日曜日。海のコンコースには、新鮮な魚や野菜、グルメ、雑貨など約100店舗が並び、多くの笑顔でにぎわいます。今治港を「交通の港」から「交流の港へ」。そんな想いから始まった「せとうちみなとマルシェ」は、令和4年（2022年）のスタート以来、毎回約1万人が訪れるイベントへと成長しました。

今回の特集では、そのにぎわいを支える運営スタッフや出店者、ボランティアなど、“人”に焦点を当て、マルシェへの想いと歩みを紹介します。

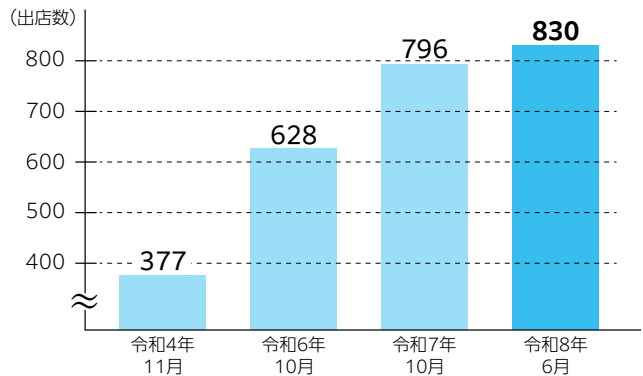


経済波及効果推移

いよぎん地域経済研究センター調べ



出店者数の推移



年間来場者 **24.4万人**

経済波及効果 **13.5億円**

※令和6年11月～令和7年10月

5月27日(水)、公益社団法人日本港湾協会が主催する「日本港湾協会企画賞」を受賞しました。さらに前年の令和7年度には、「地域づくり表彰」において最高位となる「国土交通大臣賞」を受賞しています。地域のにぎわい創出や交流人口の拡大、港を活用した魅力あるまちづくりの取り組みが高く評価され、今や全国的にも注目される地域活性化のモデル事例となっています。

令和8年度 公益社団法人日本港湾協会 日本港湾協会企画賞受賞



地域活性化のモデル事例として全国へ

# 今治港を「交通の港」から

# 「交流の港」へ



せとうちみなとマルシェ実行委員会 会長 越智 逸宏氏

子どもの頃の今治港は、渡海船が行き来して島々との物流と人の流れで活気がありました。あのにぎわいをもう一度取り戻したい。その一心でマルシェを始めました。

おかげさまで今では毎回約1万人が来てくれています。他のイベント主催者もマルシェの開催日に合わせて企画を組んでくれるようになり、相乗効果が生まれています。港だけでなく、街全体が動き出している実感がありますね。

マルシェの一番の力は人です。企業も学生も、「オール今治」で集まってくれている。みんながこの場所を良くしたい、その一点でつながっている。それが一番の強さだと思います。

「ブランドは継続」。この言葉のとおり、続けることでしかブランドにはなりません。10年、20年と続けていけば、今治港は必ず交流の港になる。その日を目指して、これからも走り続けます。



せとうちみなとマルシェ 運営委員長 原 竜也氏

マルシェがここまで続いているのは、ボランティアの皆さんの力があってこそ。毎回新鮮なメンバーが集まってきて、朝からワクワクしています。

外からは「うまくいってるね」と言っていますが、内側では常にヒヤヒヤしています。大変な面もありますが、それは改善のチャンスがずっとあるということ。続けることで、次に生かせる。そう思って走り続けています。

運営メンバーの絆も固くなり、今では一緒に新しい事業を考えるほどの関係になりました。普段は交わらなかった人たちが出会える場所。それがマルシェの価値であり、目指している中心市街地の活性化につながっていくと信じています。そして今、ハード面の整備が進む今治で、マルシェが蓄積してきたソフトの力を生かす時が来ています。この5年10年で、今治は大きく変わる。その変化に、マルシェとして貢献したいと思っています。

# 「せとうちみなとマルシェ」これまでの歩み

令和4年(2022年)

今治港開港100周年を契機に、「港を“交通の港”から“交流の港”へ」をテーマとした地域交流イベント構想が始動。

公益社団法人 今治地方観光協会 越智逸宏会長の呼びかけを受け、株式会社ハラブレックス代表 原竜也氏を中心とした運営委員会を立ち上げ。

出店者募集、運営体制構築、会場整備等を進めながら、今治港を活用した新たなにぎわい創出事業として準備を本格化。

11月

せとうちみなとマルシェ 第1回開催。今治港海岸線約600メートルに100店舗以上が出店し、約1万人が来場。

月2回程度の定期開催を開始。地域住民のみならず県内外からの来訪者も増加。



むらかみ りょうこ  
**村上 亮子さん**  
ボランティアスタッフ

最初は興味本位で参加したのですが、回を重ねるうちに顔見知りが増えて、来るたびに楽しみになっていました。学生や全然違う職業の方と話せる、普通の会社勤めではできないような経験をマルシェで味わっています。アットホームな雰囲気も魅力のひとつで、それがボランティアを続けている理由かもしれません。これからも自分自身が楽しみながら、その一員として関わっていきたいです。



みよし さとし  
**三好 哲さん**  
ボランティアスタッフ

今治に何か恩返しをしたい。そんな思いでマルシェのボランティアに参加しました。マルシェには市内外を問わず、いろんな地域の出店者さんが集まってきます。今治の良さを知ってもらい、商店街に新しいお店が生まれるきっかけになればうれしいですね。

子どもからおじいちゃん・おばあちゃんまで、世代を超えて誰もが笑顔で話せる。そんな温かいコミュニケーションの場になってほしいです。



せき ようじ  
**関 洋二さん**  
魚のセリ担当

月に1度、新鮮な魚を手に朝セリに立っています。潮流が激しいところで揉まれた瀬戸内の魚は、身がしっかりしてすごくおいしい。ずっと通い続けてくれる常連さんもいて、セリが始まる前にあれこれ話するのが楽しいんですよ。人と人がつながる、それがマルシェの魅力だと思っています。

今後は港周辺だけでなく、商店街全体がにぎわってほしい。これからもおいしい魚をマルシェで届け続けたいと思っています。

## 年間延べ900人以上のボランティアに支えられています。



(左から2番目)

ふじむら みえ  
**藤村 美枝さん**  
出店者(あこうラーメン)

おいしい魚を知ってほしい。そのシンプルな気持ちが始まりでした。夫が漁師で、試行錯誤の末に生まれたのがあこうラーメン。家族や親友も集まってくれて、みんながいたから続けてこられました。おいしかったと言ってももらえること、それが一番の喜びです。去年好評だった夏限定「冷やしぶっかけ」は今年もやります。マルシェの力になれるなら、これからも出続けたいと思います。



の ろ かずき  
**野呂 和貴さん**

三重県出身 / テント設営・交通誘導担当

もともと地域活性化に興味がありました。そしてマルシェで気づいたのは、魅力は人だということ。出店者の方に声をかけていくうちに、その人の背景が見えてきて深く関われたり、お客さんからの「ありがとう」の言葉もすごくうれしい。これからもこの空間を一緒に作り上げていきたいです。高校生だからこそ持っているエネルギーを、運営でも企画でも現場でも、もっと生かしていきます。

かみふくもと たくみ  
**上福元 達史さん(げんちゃん)**  
兵庫県出身 / 設営・セリ担当

今年から魚のセリをやらせてもらっています。最初は勢いだけで挑んで、知識をつけた2回目は逆に伝わらなかった。そこで「頭じゃなくて、心で伝えることが大切なんだ」と気づきました。漁船に乗せてもらい、網を引いて魚が躍り出した瞬間、生命力に圧倒されました。その感動をどう伝えるかが課題です。今後は「子どもセリ」のような企画で、もっと幅広い人にマルシェを知ってほしいです。



インタビューはこちら[Note]



令和5年(2023年)

港町・今治らしさを生かした「鮮魚セリ体験」「マルシェキッチン」など体験型コンテンツを展開。

夜間開催型イベント「バルシェ」をスタート。瀬戸内の夜景や食を楽しむ新たな地域コンテンツとして展開。

クーポン事業、企業協賛、情報発信強化など持続可能な運営体制づくりを推進。

全24回開催、累計来場者数約27万人、経済波及効果約10億円を記録。

現在

地域住民の交流拠点として定着するとともに、中心市街地やしまなみ海道エリアへの回遊促進を図る地域イベントへ成長。

## 地域に愛されるマルシェに成長

せとうちみなとマルシェは、月2回の定期開催を続けながら、地域の方はもちろん、県内外からも多くの来場者を集めています。令和5年(2023年)には夜間型マルシェ「バルシェ」を開始し、瀬戸内の夜景と食を楽しむ新たな地域コンテンツとして定着しつつあります。

また、企業協賛や情報発信の強化など、持続可能な運営に向けた取り組みも進めています。現在

では、「家族で気軽に出かけられる場所ができた」「毎回違った楽しみがある」といった声が寄せられるなど、高い支持を得ています。

今治港周辺のにぎわい創出にとどまらず、中心市街地やしまなみ海道エリアへの回遊促進にも貢献しており、地域活性化をけん引する取り組みとして大きな役割を果たしています。

### 観光誘客、宿泊連動、夜間コンテンツ強化等を通じ、 “交流の港”としてさらなる発展を目指します。



バルシェ(6/27~9/12)

17:00~21:00

6月 14日・27日

マルシェ 9:00~14:00

7月 11日・25日

10月 11日・24日・25日

8月 15日・29日

11月 8日・22日

9月 12日・27日

12月 13日・27日 マルシェ第100回

- 10月24日(土)、25日(日)…サイクリングしまなみ2026協働開催のため10:00~17:00(予定)
- 12月13日(日)…15:00~20:00(予定)
- 12月27日(日)…マルシェ100回記念 9:00~14:00(予定)

■ 問合先 せとうちみなとマルシェ実行委員会事務局(公益社団法人今治地方観光協会内) TEL 0898-22-0909

